

## 平成 29 年度 第 3 回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 30 年 3 月 13 日 (火)

13 時 40 分～15 時 40 分

場所 しなの鉄道本社 第一・二会議室

### 1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 15 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。  
(協議会規約第 6 条第 2 項)

### 2 あいさつ

<しなの鉄道活性化協議会会長>

当協議会の会長を務めておりますしなの鉄道(株)専務取締役です。本日は年度末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

平素はしなの鉄道の事業に関し、財政的支援、利用促進など様々な場面で皆様にご協力をいただいておりますこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

2 月には弊社取締役会が開催され、平成 29 年度第 1 から第 3 四半期、4 月から 12 月までの事業報告をしました。一部報道されておりますのでご存知の方もおられると思いますが、簡単に経営状況等ご説明させていただきます。

平成 29 年度第 1 から第 3 四半期、4 月から 12 月までの累計輸送人員は、しなの鉄道線と北しなの線を合わせて 1143 万 5 千人でした。今年度は真田丸効果の反動減を見込んでおりましたが、結果、前年同期比 100.7%とほぼ前年並みという輸送人員の状況でした。この内、しなの鉄道線は 805 万 9 千人、前年同期比 101.5%となりました。昨今の経済状況や雇用情勢が反映され、通勤利用者が伸びているという感想をもっており、引き続き好調な輸送人員を確保できるよう努めたいと思います。営業収益は、しなの鉄道全体で 34 億 5 千万円、前年同期比 101.1%と若干増えております。費用を差し引いた営業利益は全体で 4 億 8 千 6 百万円でした。これは前年同期と比べ若干減り、99.1%ということでございます。損益は、現時点で予算を 2 倍ほど上回っているものの、1 月から 3 月の冬場を迎え利用者は減り、修繕や経費の支払いが増えますので、営業利益 4 億 8 千 6 百万円は当然減ります。最終的に予算上では 5 千万円と見込んでおります。総じて、お客様の数もそれなりに確保でき、営業収益も堅調な業績であると思います。

続きまして、しなの鉄道が取り組んでいる課題と事業などを紹介させていただきます。

まず一点目は、最大の課題である車両更新があります。現有の 115 系車両を懐かしの車体カラーとして復刻しお客様を集めておりますが、製造から約 40 年の車齢でございますので安全安定輸送を今後も維持していくために、車両更新がぜひとも必要ということでございます。但し、これは相当なお金がかかり、100 億円ほどと考えておりますが、それをどのように国、県そして沿線市町の皆様のご協力を得ながら進めていくかということがあります。具体的に

は平成 31 年度から着手したいと思っており、現在、車両数、仕様の検討、メーカーについてなど準備作業を行っています。特に本日ご出席の沿線市町の皆様に、財政のご支援をいただくことについて、改めて説明に伺う機会があると思っておりますのでよろしくお願いいたします。

二点目は、『軽井沢駅「駅ナカ」開発プロジェクト』の 3 月 23 日のグランドオープンに向け現在整備をしております。一階はデッキ広場としてお子さまや家族連れが楽しめるように電動の小さな電車が走り、展示車両の中も楽しめ、そして 2.7 坪ほどの小さな移動型店舗の中では、沿線市町の協力を得て地元の農産物や加工品を年間約 840 万人といわれる観光客の皆様に PR し、沿線への誘客に繋げていきたいと考えております。また、これまで三階にあった駅事務室を半分ほどのスペースとし、空きスペースに商業店舗が入ります。商業店舗は、以前からの継続店舗 4 店舗、新規 3 店舗の計 7 店舗を予定しており、商業ゾーンということで賑わいを創出したいと考えております。これら二つを合わせて 3 月 23 日にグランドオープンということになります。軽井沢は弊社にとって貴重な資源であり、軽井沢の観光客をいかに沿線地域に足をお運びいただくか、これは沿線の各商工会議所様はじめ地域の魅力づくりに取り組んでいただくことが条件ではありますが、そのひとつの軽井沢戦略として整備をしましたので、当社としてもしっかり活用していきます。また、一階デッキ広場は 1,000 m<sup>2</sup>以上ありますので、経済団体の皆様には、地域の魅力など各市町の PR などに利用していただければありがたいと思っております。

三点目は、「コカ・コーラ」レッドカラーの車両が運行を開始しました。この度はクラウドファンディングという新しい手法で支援を募り、約 400 万円、634 名の方から支援いただき、3 月 4 日に出発式と記念ランを行いました。このような車両をつくり、鉄道ファンをはじめ全国から多くの人に沿線を訪れていただきたい、また、できれば貸切列車として使用していただければと考えておりますので、皆様にも興味をもっていただければと思います。

それから、3 月 24 日に 2018 信州総文祭記念トレイン信州ナビ助号が運行します。これは、今夏 8 月 7 日から 11 日に県下で全国から 2 万人ほど集まり、全国高等学校総合文化祭が行われます。その連携企画として当社で記念トレインを運行することとなりました。注目いただきたいのは小諸にて「地域公共交通とわが町の未来高校生プレゼン大会」というのがございます。24 日午後 1 時 30 分から小諸市のステラホールで行われ、8 校 11 チームが高校生らしい斬新な発想でプレゼンテーションをしてくれると思います。お時間があればプレゼン大会にもお越しいただき、応援していただければありがたいと思ひ紹介させていただきました。

最後に、前回の協議会で決議いただきましたが、通勤利用者の増加に向けた課題と方策を探るワーキンググループを立ち上げました。1 月 24 日と 2 月 28 日にそれぞれワーキンググループを開催し、本協議会だけでなく、北しなの線運営協議会の構成団体の方にもご参加いただいで調査実施に向けた準備をしているところでございます。

本協議会は軽井沢町、御代田町及び小諸市の増便実験が主な事業ということですが、今回ワーキンググループの事業を北しなの線含め全線共通で通勤定期のお客様をいかに獲得していくかの初めての調査でございます。非常に手がかかると思いますが、当社を含めて沿線市町、経済団体、住民の皆様それぞれの立場で、何が課題でどんな取り組みをしていくのが通勤客を増やし、ひいては沿線の鉄道が維持できるかということにつながる調査でございますので何卒ご協力をお願いします。

3 協議事項 (議長：会長 協議会規約第 6 条第 1 項)

- (1) 平成 30 年度しなの鉄道(株)しなの鉄道線生活交通改善事業計画 (案) について  
事務局から「資料 1」を説明

(質問・意見等)

- ア. 保守用車による軌道整備について、施工業者に保守用車を保有してもらい、しなの鉄道では工事発注のみ行うという事は出来ないのか。

<事務局>

保守用車は当社保有でそれを貸し出している。施工業者に保守用車を保有してもらうことも出来るが、その場合、一社特命となり、競争原理が働かなくなるため、工事金額が割高になる。

- イ. 平成 31 年度のしなの鉄道線生活交通改善事業計画に対する予算化依頼については、次年度予算要求の関係上、10 月までには出してほしい。また、ラッピング列車のような計画のない事業は予算がついていない。事業計画は年初にお願いしたい。

- ウ. 来年は町長選挙があり、予算要求の関係上 9 月までにお願いしたい。

(異議なし、承認)

- (2) 平成 30 年度しなの鉄道活性化協議会事業 (素案) について  
事務局から「資料 2」を説明

<議長>

来年度の素案について説明させていただいた。ワーキンググループについては、調査票をまとめ、調査対象の抽出を行い、郵送後にヒアリングを行うのか詳細は検討中だが新年度に調査ができてよい成果が出るようにしたい。

(質問・意見等)

- エ. 増便実証実験は、本運行にならないのか。

国の都市再生計画事業に係る補助金の要件に、鉄道駅のピーク時における片道運行本数が 3 本以上とある。現在は増便事業もあり、同要件を満たしているが、引き続き配慮いただきたい。

ワーキンググループによる通勤利用実態調査は、何社を想定しているのか。また、人手が足りないため、郵送による調査であればしなの鉄道で行えないのか。

<事務局>

増便については、経営として成り立つ列車として運行できるか検討する必要がある。また、補助事業についても、増便を見直す中で、今後の在り方について相談させていただきたい。本数を堅持するためにも、本協議会の皆様をはじめ沿線の皆様に鉄道利用促進していただき、本数を減らすことが目的ではなく、むしろ本数が増えるように乗車いただくことが望ましい話ですので、そういう意味でも、本協議会の本質的な事業である通勤利用実態調査についても、一緒にお考えいただき、ご協力いただきたい。

<議長>

それぞれ事情があることは理解しています。沿線市町とよく連携を取りながら進めていきたいのが基本的なスタンスです。しかし、しなの鉄道は経営体であり、皆様には再三お伝えしていますが、今後の車両更新、そして、しなの鉄道社員の平均年齢が若いことによる人件費高騰などの課題があり、これからは維持するのが精いっぱい、どれだけお客様の減少を食い止めるかという困難な局面に入ります。何から何まで切っていくわけにはいきませんが、ダイヤの見直しはしていかなければなりません。それら背景もご理解いただきたい。

<議長>

いろいろご意見いただきましたが、ご意見を踏まえて新年度に事業計画を作り、審議いただくこととさせていただきます。

(異議なし、承認)

(3) その他

特になし

<議長>

これをもちまして、平成 29 年度第 3 回しなの鉄道活性化協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

4 閉 会

以 上